

# 児童図書研究室ニュース

2006. 8. 1

## 福島県立図書館

<http://www.library.fks.ed.jp>

No. 61

平成18年度 子ども読書活動推進講座 ご案内

### 朗読～言葉には“顔”がある～

講師：福島テレビアナウンサー 岩田 雅人 氏

「朗読」の専門家に、声の出し方・イントネーションの「コツ」を学びます。読み聞かせ・語りなどのスキルアップに役立ててみませんか？

第1回 9月1日(金) 13:00～15:30

須賀川市中央公民館

第2回 9月12日(火) 13:00～15:30

会津美里町本郷公民館

第3回 11月3日(祝) 10:00～12:00

県立図書館(福島市)

※ 第1回と第2回の内容は同じです。

どちらかご希望の回をお選びください。

自動的に第3回のご参加となりますので  
ご了承ください。

※ 第3回と同日開催(午後)

「絵本作家いわむらかずお氏講演会」への  
参加者も募集いたします。

▼▼▼お問合わせ・申込み▼▼▼

福島県立図書館 企画管理部

TEL 024-535-3220

FAX 024-535-3226

ホームページ <http://www.library.fks.ed.jp>

### 児童文学関係講座 ご案内

#### ◆児童文学連続講座

—国際子ども図書館所蔵資料を使って

テーマ：「絵本の愉しみ—イギリス絵本伝統に学ぶ—」

期日：10月16日(月)、17日(火)、18日(水)

場所：国立国会図書館国際子ども図書館3Fホール

対象：図書館等において現在児童サービスに従事する方

申込〆切：8月10日(木) 17:00まで。

▼▼▼お問合わせ▼▼▼

国立国会図書館国際子ども図書館企画協力課

TEL 03-3827-2053

ホームページ <http://www.kodomo.go.jp>

### 「心を鍛える言葉」白石 豊氏 講演会報告

7月22日(土)、県立図書館において、福島大学教授で、アトランタ五輪・シドニー五輪でメンタルコーチを務めた白石豊氏を迎え、読書推進講座の講演会が行われました。参加者は、教育関係者や高校生など約300名でした。

白石氏はご自身の人生の転機となった本の紹介などをまじえながら、心のトレーニングには「言葉」というものが大変重要な役割を果たすことや、目標達成のための意欲を引き出す「言葉かけ」について、福島県出身のプロバスケットボール選手・萩原美樹子さんへ実際に行ったメンタルトレーニングの具体例を挙げながらお話されました。途中にリラックスタイムがあり、ヒーリング音楽を聴きながら、参加者全員で、体に力を入れて抜く、力を入れて抜くを繰り返して瞑想状態に入るというような貴重な体験を味わう場面もありました。

多数の方のご参加ありがとうございました。同氏の著書『心を鍛える言葉』(日本放送出版協会、2005年)もぜひご一読ください。

#### イベント情報

❖ 「絵本ワールド in ふくしま」

期日：2006年8月12日(土)・13日(日)

10:00～17:00

場所：ビッグパレットふくしま (入場無料)

福島県立図書館でも下記のコーナーにおいて展示を行いますのでぜひご家族でおでかけください。

#### ★ 「心に虹をかける本」展示

福島県内の図書館員が選んだ子どもたちへのおすすめの本の展示のコーナー

#### ★ 「はじめてであう絵本セット」展示

赤ちゃんと一緒に楽しむのにおすすめの絵本の展示のコーナー

#### ★ 移動図書館車展示

福島県立図書館移動図書館あづま号の展示のコーナー

▼▼▼お問合わせ▼▼▼

「絵本ワールド in ふくしま」実行委員会事務局

(福島民報社事業局内)TEL 024-531-4171

ホームページ

<http://www.fukushima-minpo.co.jp/enjoy/jigyo/>

❖ 児童図書研究室からおすすめ！の本

## 『この本 読んで！

### わくわく読み聞かせマガジン』

発行：出版文化産業振興財団 (JPIC)

(季刊：年4回発行) 定価￥1,050

「小学校で読み聞かせのボランティアをはじめたんです…」とおっしゃるお母さんが増えているようです。ご自分のお子さんへの読み聞かせは慣れていても、大勢の子どもたちを前にしての読み聞かせには不安を感じる方も多いはず。

そこで、今回は読み聞かせやおはなし会に関する情報満載の『この本 読んで！わくわく読み聞かせマガジン』を紹介します。

2006年夏号通巻第19号(写真)の特集のひとつが「ナンセンス絵本」。  
『ぶきやぶきやぶー』(講談社、2001年)のコンビ内田麟太郎さんと竹内通雅(つうが)さんの対談のほか、ナンセンス絵本作家の代表格で昨年亡くなられた長新太さんの2003年以降発行の新しいおすすめ絵本の紹介もあります。またそんなナンセンス絵本をJPIC読書アドバイザーが実際のおはなし会でどんなふうに読んだかを紹介するコーナーも。

2001年の創刊号以来、上手に読み聞かせをするための基本的なポイントや、季節ごとのおはなし会のプログラムの組み方、おはなし会運営に関するお悩み相談など、実際に子どもたちを前にして読み聞かせやおはなし会をする際での具体的なアドバイスがとても参考になる雑誌です。

「あの作家に会いたい」「絵本美術館に行こう」「贈る絵本」などの各コーナーも美しい写真満載で、眺めているだけで癒される気分にもなれます。

詳しくは『この本読んで』公式サイトをご覧ください。  
<http://www.ehondaisuki.jp/>  
(書影・ページの掲載は出版社の許可を得ています)

【ご質問・情報はこちらへ 福島県立図書館・児童図書研究室】

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

TEL 024-535-3218 FAX 024-536-4787

E-mail [kodomo@library.fks.ed.jp](mailto:kodomo@library.fks.ed.jp)